

子どもの笑顔かがやく兵庫県に くらし・福祉最優先の県政へ

兵庫県議会議員

きだ結

ゆい

昨年は大変お世話になりました。

参議院選挙で、日本共産党は、6議席から11議席に躍進しました。日本共産党は社会保障改悪、原発再稼働、TPP参加、「戦争する国」づくりなど、暴走する安倍政権と、正面から対決し、対案を示す党です。安倍政権が強行成立させた秘密保護法。その危険性を告発し、廃案を求め国会で堂々の論陣を張りました。同法反対の大きなうねりが起き、いま廃止を求める運動が広がっています。今年4月には消費税の8%への引き上げも予定されています。今年を、共同を広げ、力を合わせて希望のもてる社会をつくる年にしようではありませんか。



秘密保護法は廃止にと訴え

プロフィール

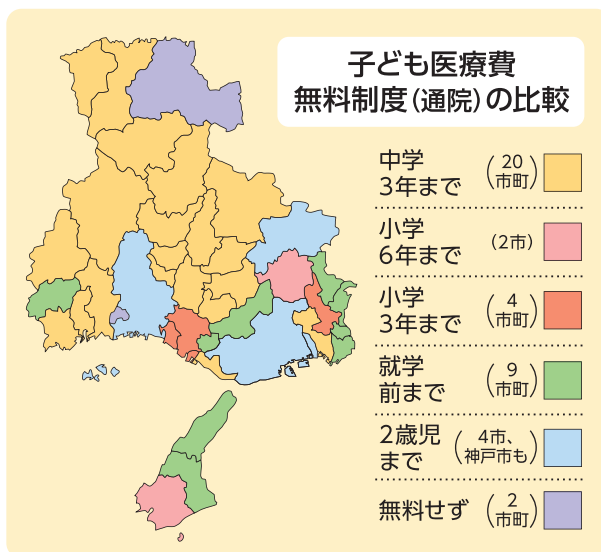
1970年生まれ。神戸女子薬科大卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者支援。2011年4月県議会議員に初当選。保育所父母の会会長をつとめる。渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人。

ツイッター・ブログ

きだ結

検索

兵庫県内 中3まで医療費無料化が大きく前進



県民の皆さんの世論と私たち日本共産党の活動により、公約である中3まで通院・入院とも医療費無料化が大きく前進しています(現在、全41市町のうち20市町で実施)。県は昨年7月から医療費助成を中3まで広げました。これが力になって、各市町で中3まで医療費無料化が広がりました。

新しい神戸市長も、「中3までの無料化を段階的に実施する」と公約しました。県と神戸市で、ただちに所得制限なしで中3まで無料化するよう、ひきつづきががんばります。



2014年度予算要望(11月11日)で「医療費無料化は重症化防止に有効で、将来にわたり健康な体をつくることできる。長い目でみると医療費抑制にも中3まで無料化を訴えました。井戸知事手前は、「制度の勉強をして検討したい」とコメント。

2014年度予算編成について要望しました



井戸知事に予算要望書を手渡す(11月11日)

- 中学校給食実施に県の指導・財政支援を
- 小学4年以上も少人数学級に

- 借り上げ復興県営住宅から入居者を追い出さず、入居継続を
- 脱法ドラッグなど薬物対策の学校での啓発に薬剤師のさらなる活用を
- 雇用を担う中小企業の支援を抜本的に拡充
- 国民健康保険料・介護保険料の引き下げ
- 深刻な看護師不足解消へ、県の奨学金復活を
など全659項目。

東神戸病院などの看護師の皆さんと県医務課との交渉・懇談に同席(11月19日)



特別支援学校の新設・充実を



県立特別支援学校は17校ありますが、どこも過密状態や長時間通学など課題が山積みです。特に不足している神戸市東部に新設すること、スクールバスは民間委託ではなく公的な介助員を配置すること等求めています。

県立芦屋特別支援学校に視察・懇談(12月5日)



普通教室が不足し、特別教室を転用

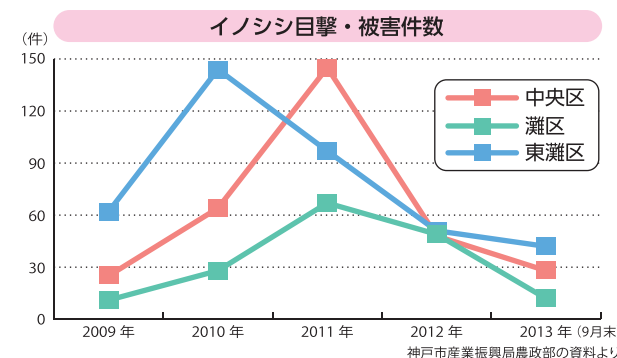
急傾斜地対策を急いで

9月の台風と豪雨で、東灘区内でも住吉山手と保久良山で土砂崩れが発生。緊急対策とともに抜本的な防災対策を、県と市に求めました。国有地については国・六甲砂防事務所に対策を求めています。



保久良山土砂崩れ現場。復旧箇所の隣も崩れそうです(左)。雨水を一定止める緑石がない箇所(右)。応急的に土のうが積み立てられています(11月30日)。ただちに神戸市東部建設事務所に緑石の設置を要望しました

イノシシ対策を早急に



以前より見かけるのが少なくなったと言われるイノシシですが、夜に遭遇し怖い思いをしたり、かまれるなどイノシシ被害はまだまだ深刻です。

きだ県議は一貫してイノシシ対策を求めています。昨年度から県の事業としてモデル的に中央区北部にイノシシ防護柵が設置されました。左のグラフのように効果がみられます。きだ県議は、東灘区北部への防護柵の設置、餌付け禁止の徹底等の総合的対策を求めています。



兵庫県との神戸地域政策懇話会でイノシシ対策を求める(12月11日)